

懇談会で頂いた主な意見

第1回石巻市立地適正化計画策定懇談会

日時：令和4年7月13日（水）15時00分から

内容：立地適正化計画の概要、石巻市の現状及び課題、今後のスケジュール 等

主な意見等	
検討の視点に関する意見	① 特に石巻の場合、結構広くいろんなところがあるので、 <b>都市計画区域の中だけではなく、都市計画の区域から外れた部分も含めて検討したほうがいいのではないか。</b>
	② どうしても中心地に集めるときに取り残されてしまう人のことが思い浮かぶ。いま子どもの貧困等が社会的な課題になっているが、家庭の事情で移動ができない場合に、子どもたちが部活や習い事などに参画する機会の不足等、 <b>サービス格差をどのように埋め合わせながら集約していくかが大事だ</b> と感じている。その他、子どもたちの声で自転車がこぎにくい場所があるとよく聞く。子どもたちの移動は公共交通だけでもないので、自転車やお母さんたちだとベビーカーでの移動しやすさも改善されながらの都市づくりだといいと感じる。
	③ <b>これまでの復興事業の延長線上に立地適正化計画がある</b> ととらえるべきではないか。
	④ コンパクトシティというと徒歩で過ごしたり、公共交通で過ごしたりというのが大前提になるが、実際石巻は車社会であると思う。 <b>車社会に合致したコンパクトシティの姿を考えていくべき</b> では。
	⑤ <b>外部ステークホルダーを引き込んでいく仕組みづくり、景観づくり</b> といった視点でも考えていくべきでは。
	⑥ 岡山県総社市では、公共施設に育児相談ができる赤ちゃんの駅をつくったほか、障がい者のための就労施設、若者のためのチャレンジエリアを作って、町にバスを回すということをやったら人口が増えている。 <b>福祉という切り口ではなく、仕事と福祉という形でゾーニングをきちっとやる素質が石巻にはある</b> と思う。 ドイツのライプチヒでは10年間固定資産税を免除する代わりに土地を全部供出してもらって、そこを全部公園に変え、居心地のいい、イベントもできるピクニックエリアにしたら周辺の地価が上がった。 <b>いまは住環境がいいと土地が上がる。</b>
	⑦ 圏域の方々からは、石巻は夜の街に活気がないといわれている。観光客を集客するにあたってやはり夜の街は非常に大切。 <b>泊まる観光客のためにも夜の街は大事。</b> そういった街並み形成もお願いしたい。
	⑧ 石巻は若い人たちが結構入ってきて活動されているという印象をととても持っている。関係人口や交流人口にあたる方々がたくさんいるのが石巻の魅力だと思っているため、 <b>住民台帳の市民だけではなく幅広く市民を考える</b> ことによって、いい計画になってくるのでは。
災害リスクへの対応に関する意見	⑨ 立地適正化計画の中では雨の降り方も含めて <b>リスクに対して安全なまちを作っていく</b> というのはこの協議会の中でも議論していくべきではないか。
	⑩ 浸水想定区域で、今後都市機能のコアをつくっていく場合、住宅を含めた建物の浸水被害に対する防御のイノベーションと建て方、コンバージョン等で土地の交換も含めて縮小しながら充実させていくといった合わせ技が大事なのではないか。
現況データに関する意見	⑪ 都市機能の集積状況に関して、色が濃いところが自分のイメージと少し違っている。石巻駅北側の色が濃いのが、私自身は石巻地区から中瀬の方に歩いてきて、元々アーケードがあったところあたりが住んでいる人、歩いて暮らしている人や観光できた人の中心的なイメージを持っている。 <b>細かく分析できると良い</b> と思われる。
	⑫ 東松島市にも都市機能や人口の集積がある。今後石巻市のどこに住宅や施設を集約していくかというときに、 <b>県合同庁舎付近の東松島市の状況も非常に大事</b> になってくる。
	⑬ 3月に門脇流留線が開通したことによって車の流れがだいぶ町の中で変わっている。それから内海橋の開通と色々な面で変わってきている部分がある。 <b>今後の道路の建設計画や開通路線も資料化</b> していただきたい。
立地適正化計画の策定効果・影響に関する意見	⑭ コンパクトに集約していく地域の地価は上がるため、コンパクト化に伴うコストは地区によって変わってくる。元から高いところに集積していくことが本来は望ましいかもしれないが、コスト的には実は他の場所が望ましい可能性がある。都市機能誘導区域を指定すると地価がこのくらい上がる、といった <b>地価の推計式</b> というのは出せないか。
	⑮ 今後をどう変える、誘導するといっても、 <b>個人で財産を持っている方々の理解</b> がないと動きようがないので、そこをどう折り合いつけていくかがある。